

特別号

2024  
Vol. 39

共創

KYOSO



IGPIの歩みと未来 -IGPI Report Special Issue-  
IGPIグループ新組織体制へ

## 新組織体制移行のご挨拶

村岡隆史 代表取締役CEO



我々は2024年10月1日をもってグループを再編し、株式会社IGPIグループを持株会社とするグループ体制に移行致しました。株式会社経営共創基盤はIGPIグループの100%子会社となり、コンサルティング事業及びマイノリティ投資事業を継続して参ります。

我々IGPIは設立以来、常に唯一無二性に拘って新機軸に挑戦し、「経営と経済に新しい時代を切り拓く」ことを自らの使命と任じて進んで参りました。2017年にJBICと共に設立したJBIC IG Partnersはグローバルにファンド事業を飛躍的に拡大しています。北欧バルト地域で立ち上げたNordicNinja VCは当該地域でも圧倒的な存在感と実績を残し、2号ファンドの立ち上げにも成功し、北ヨーロッパで最大の日系VCとなりました。中東欧でもff Red&Whiteを開始、更にはインドの政府系ファンド管理会社NIIFと共同で日印ファンドも立ち上げました。これらの進捗は、既存のVCとは明確に一線を画した戦略性と実績を評価して頂いたものです。

日本では先端技術共創機構（ATAC）を2021年に設立、先端技術の事業化を後押しする取組みを開始しました。従来のVCには出来なかった研究者との共同創業も積極的に展開し、多くの研究者の方々からそのユニークなビジネスモデルを高く評価頂いています。地域経済の成長にコミットするべく立ち上げた日本共創プラットフォーム（JPiX）については、株式会社形態による長期保有を前提とした投資モデルを大いに評価頂き、着実に事業拡大を進めています。地域の交通事業者向けの投資・経営で実績を蓄積してきたみちのりホールディングスを統合することによって、その事業価値向上力を組織全体の力とし、投資先のValue Upでも着実な成果を出しております。

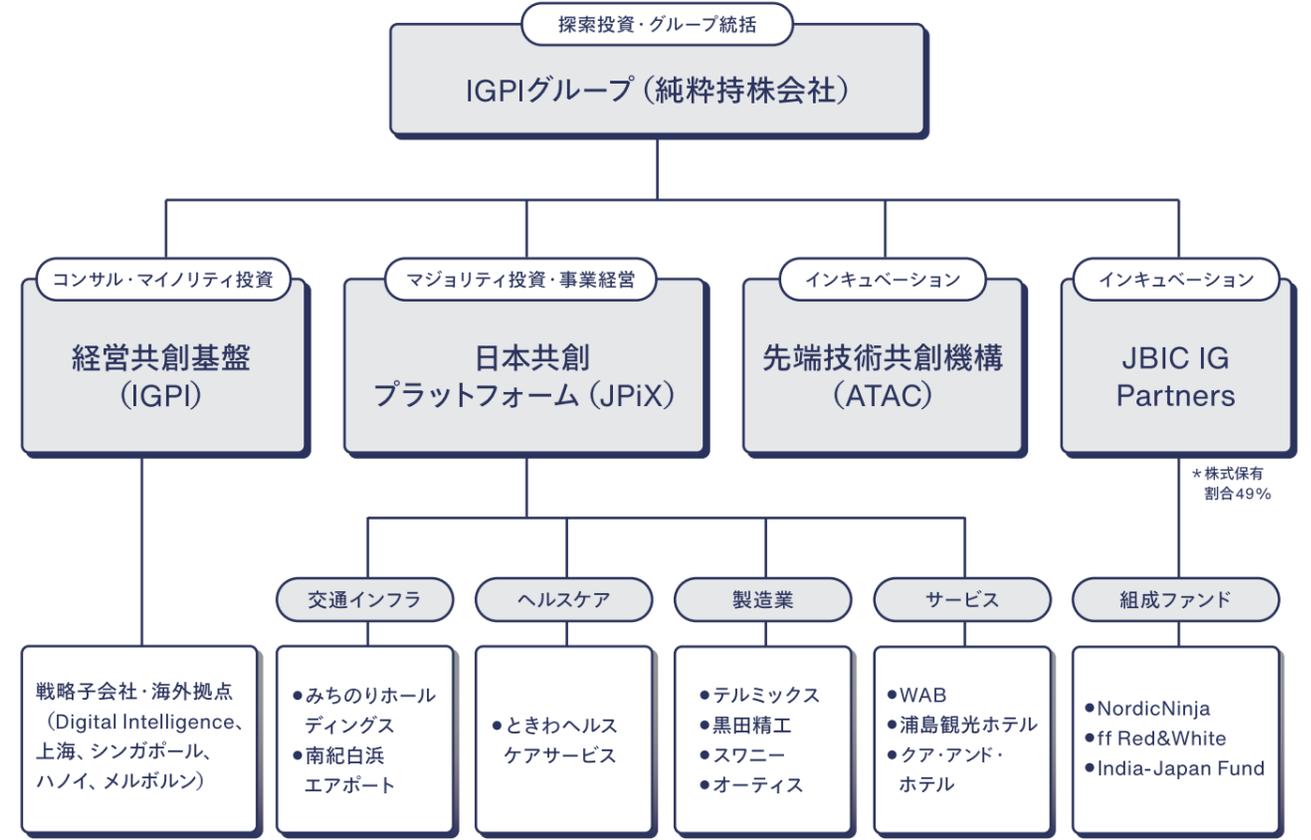
我々はこのような新規事業の「探索」活動を一層機動的に行うべく、持株会社化を決定致しました。今後生み出す探索事業についても、当該事業に最適な資本構成・資金調達を都度企図し、実現することが肝要です。その際の柔軟性と迅速性を担保する観点で、持株会社ストラクチャーへの移行が適切であると判断したものです。

加えて、コンサルティング事業とマイノリティ投資事業に特化する経営共創基盤の事業深化を図って参ります。経営共創基盤が行うコンサルティング事業は、常に「現実の成果」に圧倒的に固執してきました。紙の上での議論に終始することなく、クライアント企業にとってリアルな付加価値を生み出すこと、そのためには事業経営と財務経営の壁を超えた知、業種や業界を超えた知、経営と現場を結び付ける知を提供すること。戦略・技術・地政学・組織・ものづくり・DXといったテーマを超えた統合的かつ現実的なソリューションを提供すること。このような経営方針は変えることなく更に価値提供力を強化して参ります。

我々新生IGPIグループは「経営を共に創る基盤」です。経営が様々な課題に直面した際に、真に役に立てる知的プロフェッショナル集団として、更に切磋琢磨して参ります。「経営と経済に新しい時代を切り拓く」ことに全身全霊で対峙し努力し続けることをお約束致します。

皆様との更なる共創を楽しみにしております。

## IGPIグループ新組織体制



## 日本全国、グローバルに広がるIGPIグループ



※いずれも2024年7月時点

# 経営と経済に新しい時代を切り拓く

## 最前線で歴史を創る IGPIのDNA

富山和彦 IGPIグループ会長

富山和彦とシニア・エグゼクティブ・フェロー  
西山圭太が、IGPIの歩みと未来を語る  
「IGPI Special Session」動画はこちら



### 3つの約束 —IGPIグループの組織が社内外に対して守る約束

Authentic	本質的な社会益の飽くなき追求 Relentless pursuit of positive social impact
Transformational	リアリティと先進性のたゆまぬ向上 Continuous enhancement of realism and innovation
Integrity	誠実性を常に体現 Consistently embodying sincerity

### 8つの質問 —IGPIグループメンバーの行動指針

- |                             |                           |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1 心は自由であるか?                 | 5 本質的な使命は何か? 使命に忠実か?      |
| 2 逃げていないか?                  | 6 家族、友人、社会に対して誇れるか?       |
| 3 当事者・最高責任者の頭と心で考え、行動しているか? | 7 仲間、顧客、ステークホルダーに対してフェアか? |
| 4 現実の成果に固執しているか?            | 8 多様性と異質性に対して寛容か?         |

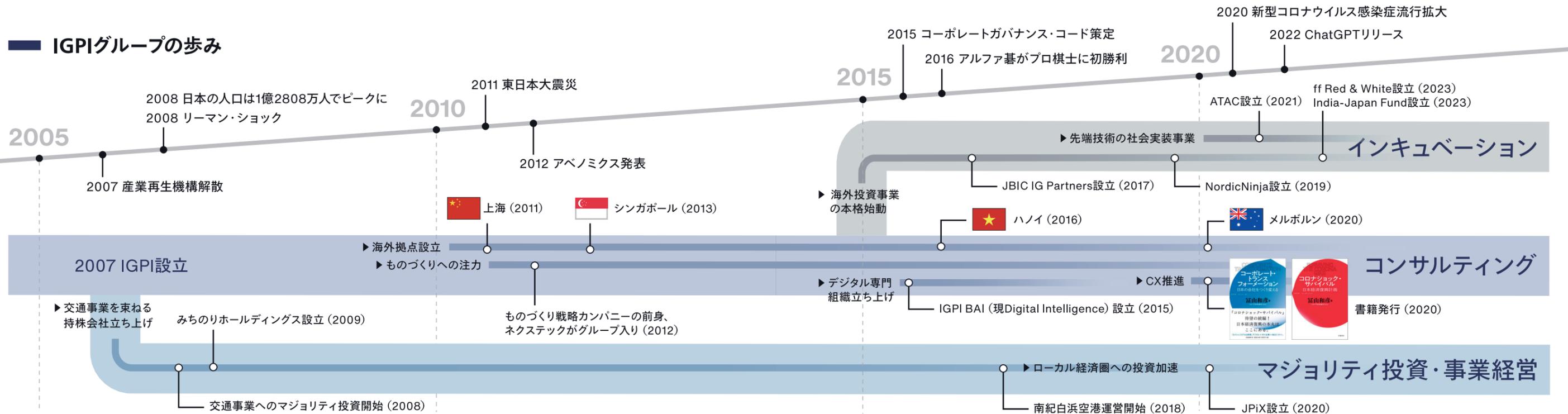
IGPIグループの原点は2003年に設立された産業再生機構に遡ります。90年代から続いた不良債権問題と金融危機を解決すべく、「産業と金融の一体再生」を掲げて国民の金、10兆円を背負った再生ファンド。昭和の時代の政治、社会、経済の負の遺産、深い闇と闘い、4年間でそのミッションを果たしたコアメンバーによってIGPIは2007年春に設立されました。

我々の遺伝子は、経営の最前線の最も困難な問題に果敢に取り組むことにあり、時代時代の最も困難な問題の多くは先例のない問題ですから、結果的に私たちの仕事は歴史の扉を拓く、歴史を創ることにつながります。設立直後のリーマンショックへの対応、地方バス事業再生、日本航空の再建、東日本大震災でのみちのりグループの津波被害対応支援や原発事故避難輸送、東京電力の再建スキーム策定と実行支援、AIを軸にした東大などトップ大学との産学連携、北欧など海外でのVC展開、「両利きの経営」とコーポレートトランスフォーメーション(CX)の提唱、そして恒久保有型の地方企業への投資・経営会社JPiXの設立……。いずれも、難しいと言われ、他に挑戦者がいなかった領域において先駆けて顕著な成果を上げてきました。

新しく困難な問題に直面した時に重要なことは、色々な与件(それまでの業界常識、社会常識、時には法律論的常識でさえも)から「心を自由」にし、コンサル、投資銀行、投資家、経営者の枠にとらわれず、考える最良の解決シナリオ作りとキャストイングを行うことです。時にその脚本と出演者にはIGPIプロフェッショナルだけでなく、卓越した官僚や経営者、学者も含まれます。IGPIのアドバイザリーボードやシニア・エグゼクティブ・フェローが豪華な顔ぶれなのはその反射です。

時代は、AI革命という新たな破壊的イノベーション、国際関係は地政学的流動化、国内は少子高齢化による労働供給制約が顕在化、深刻化する段階に入りました。今までの常識では解決不能、与件を取っ払って「そもそも論」から解決策を創造・実践することが求められる時代です。すなわち、私たちがこの組織的遺伝子を強化し磨き続けるかぎり、IGPIグループが活躍すべき領域は、世界へと広範化し、地域へと深化していきます。

### IGPIグループの歩み





## 株式会社IGPIグループ

〒100-6608

東京都千代田区丸の内一丁目9番2号 グラントウキョウサウスタワー8階

TEL 03-4562-1111

FAX 03-4562-1100

URL <https://group.igpi.co.jp/>

E-mail [info\\_igpi@igpi.co.jp](mailto:info_igpi@igpi.co.jp)